黄色部分の記載をお願いします。

見本

検 査 名	造影 CT 検査
検査日時	年　月　日　時　分

造影検査を受けられる患者様へ

検査当日、あなたが受ける検査では、ヨード系造影剤を使用いたします。造影剤はより正確な診断をするために用いますが、一方、下記に示すような副作用が起こる可能性もあります。

- 軽い副作用：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹、注射部位の痛みなどです。検査の１～２日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、１～２回の投薬や注射で回復するものです。（症状が発生する頻度は、約 100 人につき 5 人以下つまり 5%以下との報告があります。）

- 重い副作用：呼吸困難、嗄声、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院のうえ治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。（重篤な副作用が発生する頻度は、約 2.5 万人につき 1 人、つまり 0.004%との報告があります。）

- 遅発性副作用：体質により検査終了後に副作用（発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ感、咳、冷や汗、動悸、脱力感、めまい）が現れることがあります。このような遅発性の副作用は出る場合は検査後 10 分以内がほとんどですが、ごくまれに数時間から数日後（多くは 2 日以内）に副作用が現れることがあります。また注射部位の痛みが数日間持続する場合もあります。

- 症状・体質によっては死亡する場合もあります。（約 40 万人に付き 1 人の割合（0.00025%）との報告があります。）

- 造影剤を注射するときには、体が熱くなることがありますが、造影剤による一時的な刺激で心配ありません。

医療法人 順和 長尾病院
〒814-0153　福岡市城南区樋井川 3-47-1　　TEL 092-541-2035 ／ FAX 092-541-2045

- CT 検査では、勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合には、注射した部位がはれて、痛みをともなうこともあります。通常は時間がたてば吸収されますので心配ありませんが、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。

- ヨード造影剤を使用しなかった場合には、病気の種類によっては、それぞれの画像検査において病変が描出できなかったり、診断に迷ったりする可能性があります。ヨード造影剤をしない検査法に代わる検査として MRI や超音波検査といった X 線を用いない検査や造影剤を使用しない CT 検査などの画像検査があります。各々の検査法の利点や欠点は病気の種類によって様々ですので、不明な点があれば医師にご相談ください。

- 患者様には造影剤の必要性と危険性をよく理解して頂いた上で安全に検査を行うために、次ページの問診票にお答え頂いております。お答えの内容によっては、造影剤検査を行えない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

- 現在使用している薬剤によっては、副作用の頻度が上昇することがあります。お薬手帳を確認させて下さい。お薬手帳に記載がない薬剤（注射薬を含む）を使用している場合は、必ず記載をお願いいたします。現在使用中の薬剤が不明の場合は、使用薬剤が確認された後に検査を予定いたします。

検査同意書

・私は、上記説明事項を理解・了承し、造影剤検査を受けることに同意いたします

・私は、上記説明事項を理解・了承し、造影剤検査を受けることを拒否します。

年　　月　　日

患者氏名：

保 護 者：

説明実施日：　　年　　月　　日

説 明 医 師：

医療法人 順和 長尾病院
〒814-0153　福岡市城南区樋井川 3-47-1　　TEL 092-541-2035 ／ FAX 092-541-2045